

「大学生のためのお金の教室～少額でもできる投資を学ぼう！」

ファイナンシャルプランナー 江尻 正幸

●「投資に興味はあるけれど、学生の私にできるのかな？」

このように考えておられる大学生の方は、多くいらっしゃると思います。そのような方は、投資資金として最低でも数百万円を用意する必要があると考えておられる場合があります。

もちろん、投資は当面使う予定の無い余裕資金で行うものです。しかし、全ての投資活動に、大金を用意する必要はないことも知っておくべきです。投資にはたくさんの種類があります。そしてその中には、数百万円もの資金をつぎ込む必要が無く、投資をしたことが無い大学生でも、気軽に始めることができるものがあるのです。

今回は、少額でも始めることができる株式投資の一つである、株式ミニ投資（以下、ミニ株）について、事例を挙げて解説します。

【質問】

株式投資に関心があり、証券会社に口座を開きました。

その証券会社では、購入を検討している A 社の株式をミニ株として取引できるそうです。このミニ株とは、一体どのようなものなのですか？

（前田さん 22 歳 大学生 投資経験無し）

【回答】

●「ミニ株とは？」

ミニ株とは、通常の 10 分の 1 の資金から株式に投資できるものです。

例えば、前田さんが A 社の株式を購入するとします。その A 社の単元株が 1000 株の場合、通常ならば前田さんは最低でも 1000 株は購入しなければなりません。しかし、A 社をミニ株として購入できるのならば、前田さんは単元株の 10 分の 1 である、100 株から購入が可能になるのです。

つまり、このとき A 社の株価が 1 株あたり 500 円の場合、通常ならば前田さんは最低でも 50 万円を用意する必要がありました（図表 1 の①）。しかし、ミニ株として取引することによって、5 万円で購入することが可能になったのです（図表 1 の②）。

(図表 1)

A社の株価が500円のと看、購入代金はいくら？
①A社株を1000株購入した場合 500円×1000株=500,000円
②A社株を100株購入した場合 500円×100株=50,000円

※手数料等は考慮していない

(筆者作成)

●「注意すべき点は何があるか？」

ミニ株の大きなメリットは、通常の10分の1の値段で株式を購入できることです。では、注意すべき点としては、何が考えられるでしょうか。以下に主だったものをまとめました。

【単元株が1株の場合、ミニ株は利用できない】

1株の10分の1は0.1株となってしまいますね。

ミニ株の場合は、このような取引はできません。

【指値注文ができない】

一般的に、注文した日の翌営業日の最初の取引価格で購入することになります。

【議決権を行使することができない】

A社の例で考えてみますと、1000株以上保有しないと、議決権を得ることができません。

【株主優待を受けることができない場合がある】

企業や証券会社によって異なりますが、株主優待制度の恩恵にあずかることができないことがあります。

例えば、A社が株主優待制度として自社製品を株主に配布していたとしても、100株しか保有していない前田さんは、それを受け取ることができない場合があります。

このような事実を知ると、配当金がある場合、それももらえないのではないかと心配になるかもしれません。しかし、その点に関しては心配する必要はありません。保有している株式数に応じて、配当金を受け取ることが出来ます(図表2を参照)。

(図表 2)

A 社の配当金が 1 株につき 10 円の時、いくらもらえる？
①A 社株を 1000 株保有している場合 10 円 × 1000 株 = 10,000 円
②A 社株を 100 株保有している場合 10 円 × 100 株 = 1,000 円

※税金は考慮していない

(筆者作成)

また、取引にかかる手数料や、取り扱っているミニ株の銘柄数は、証券会社によって異なります。いくら少額で株式投資を行って利益を得ても、手数料でその利益部分が相殺されてしまうのは、もったいないですね。購入したい企業の銘柄が、その証券会社で扱われているかも含めて、必ず確認しておきましょう。

さらに、ミニ株と似たサービスを提供している証券会社も存在します。その中には、ミニ株よりもさらに小さい単位で株式を取引できるサービスを取り扱っているものもあります。

投資は全て自己責任で行うものです。今回、投資を始めることを良いきっかけとして、各社の商品やサービスの違い等を学んでみてはいかがでしょうか。